

しっぽ通信 No.12

2007年10月5日発行



横浜店移転OPEN致しました！

過ごしやすい季節を向かえましたので、是非お出かけください！

うさぎのしっぽスタッフ一同、心よりお待ちしております♪

しっぽNEWS

しっぽNEWSでも、何度か移転の話を取り上げておりましたが、本当に大変お待たせ致しました。10月5日に横浜店が移転OPEN♪致しました！！男性にも女性にも「いいんじゃない！」という店構えを考えたら、なんとイメージは・・・和風です。そしてお待たせした分、皆様によりご満足頂けることを願っておりますが、ご期待に添えましたでしょうか？！そしてこのオープニングセールで、お買い物をして頂いた方全員にプレゼントしたい！そんな気持ちを持って、今年はこれまでの2倍ご用意致しました。皆様のお手元にしっぽからの気持ちが届くとよいのですが・・・これからどうぞ、うさぎのしっぽをご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

通信販売部

今回の新商品は、紹介しきれないほどですのでその一部を♪完全無添加おやつシリーズ、コエンザイムQ10乳酸菌、そして大変お待たせしましたトイレ洗剤のCa REMOVER などなど☆詳しくはHPや通販部にお問い合わせくださいね！



↑無添加おやつのパッケージがかわいい♪

横浜店

ついに新店舗がオープン致しました！スタッフ一同お店のかわいらしさに大興奮しております☆オープン記念セールの慌ただしさで、ゆっくりと店内をご覧いただけなかったお客様も、残念ながらセールにいらっしやれなかったお客様も、きつとすぐに



気に入っていただけたらと思っております。是非お時間のある時に、またゆっくりと足を運んでくださいね♪アイドルうさぎも待ってま〜す(^)

東京店

季節の変わり目は換毛の季節でもありますね。毛球症の予防のケアなどしっかりしてあげてください。アメファジのコランディ君もケアは完璧ですよ(*~*)b ケアなどについては気軽にスタッフへご相談下さいね。



東京店はお店の前が駐車場となっております。お車でお越しのお客様は是非ご利用下さい。(1台のみ)ただ、混み合う場合もございますのでその場合は近くのコインパーキングをご利用下さい。

ヌクレオチドは優れもの

今回は、最近「しっぽ」で扱ううさぎさん商品で、話題になっているヌクレオチドについてお話しをしたいと思っております。「ヌクレオチド」って言うのが難しい感じがしますが、今回は、専門家にアドバイスを頂きながら、分かりやすくまとめてみました。

1：ヌクレオチドという物質を知っていますか？

ヌクレオチドとは遺伝子を含むDNAやタンパク質の合成に働くRNAを構成する物質です。

2：ヌクレオチドはどんなところで働くの？

脳や心臓などを除いた全ての細胞は一定の周期で代謝して入れ替わり、この時たくさんヌクレオチドを使っています。ヌクレオチドは体内で合成させるものと体外から取り入れ合成するものがあります。加齢とともに体内で合成されるヌクレオチドは少なくなり、体外から取り入れ合成するヌクレオチドが少ないと新陳代謝が悪くなってしまいます。その為、体外から効率よくヌクレオチドを取り入れる必要があるのです。

3：ヌクレオチドと免疫の関係は？

ヌクレオチドは様々な食品やサプリメントとなっていて、免疫機能を高めるなどの効果があるとされています。この免疫能に必要なヌクレオチドは、体外から取り入れ合成するものと言われております。

4：うさぎさんにとってのヌクレオチド

健康食品としても利用され、注目を集め始めているヌクレオチドは、うさぎさんの健康維持に免疫力の活性化に関する効果が期待できそうです。しっぽの商品では、GEXのプレミアムラビットフード、メディマルのピオエネルギー、森乳のペットミルク小動物用です。



～うさぎの暮らしを作る店～

うさぎのしっぽ

TOKYO 03-5726-1771 ^[FAX] 03-5701-1061

YOKOHAMA 045-762-1232 ^[FAX] 045-762-1231

通信販売 045-750-5474

FAX(24時間受付) 045-750-5476

〒235-0002 横浜市磯子区馬場町6-29

携帯サイト <http://k.rabbittail.com>





飼育相談Q&A

皆さんの質問にお答え致します。
もっともっと読みたい方は、ホームページへgo!

今日は夏の暑さなども影響していたのか、食欲が落ちてしまったというような、食に関してのご投稿が多かった印象です。うさぎさんごとで、食事の環境も異なりますので、で、いろいろなお悩みがあるようです。食欲の秋を向かえたことでもありますので、元気いっぱい食欲いっぴいいうさぎさんを目標にさせていただきたいです。

Q: 2歳4ヶ月のミニウサギの女の子です。ここ2日くらい、水と牧草しか食べていません。今までよく食べていたペレットや乳酸菌等には見向きもせず、ひたすら牧草だけ食べています。大丈夫でしょうか？今のところ糞や尿は異常はなさそうですが。

A: ペレットや、乳酸菌など、これまで大好きともいえるようなご馳走には目もくれず、牧草だけを食べているといううさぎさん。牧草さえも食べずに・・・という場合とは違った状態です。牧草をしっかりと取り込んでいる場合には、糞もコロコロのしっかりした大きさのものを排泄していることと思います。水も飲んでいるのであれば、おしっこ量などにも変化が少ないでしょう。うさぎさんの中には、自ら今必要とする栄養素を選んで食べる場合もあります。より多くの繊維質が必要だという状況なのかもしれません。ただ、ペレットやおやつなどの品質に問題がないかということは、今一度確認していただくことが必要です。食べたくても食べられない状況ではないかということを見極めていただきたいと思います。こちらに問題がないという場合でしたら、今後も注意深く観察していただきながら、体調や排泄物などに変化があったならば、直ぐに専門家である獣医師にご相談いただきたいと思います。

Q: 朝と夕方にペレットをあげています。アルファルファ主体の緑のペレットに、にんじんが配合されたオレンジのペレットが少し混じったものです。オレンジが好きなので、真っ先にそれから食べますが、そのうち緑のものも食べます。ところが夏休みに10日ほどペレットシッターさんに預けた後、緑を残すようになりました。丸一日経っても見向きもしません。どうしたらよいのでしょうか？

A: うさぎさんをお預けした際に、与えている食事の内容を変えたということはありませんでしたか？もし変えていたり、与える量に違いがあったりしたならば、そのことが原因のひとつも考えられそうです。また、預けられたという環境の変化がありましたから、そのことで食欲に違いが出てきたということも考えられます。留守番の時のうさぎさんの様子などもお伺いしてみると、原因となるヒントが見つかるかもしれません。今現在、ペレットの取り込み量が減っていることですから、食欲や体調にトラブルがあるということにも捉えられるのだと思います。うさぎさんの体調に問題がないか、これは獣医師にきちんと診ていただくことが必要だと思います。

Q: 以前より不正咬合のため病院にかかっていたのですが、歯を痛めてしまいえさを食べなくなってしまいました。「やわらかいものを食べさせてください」との獣医師のアドバイスだったのですが、何か柔らかいえさはないのでしょうか。ペレットを水にふやかして食べさせているのですがあまり食べません。よろしくお願ひします。(一部中略)

A: 当店のショップで扱っているペレットでいえば、OXBOW社とニッパイ社のペレットが、他のメーカーから比べますと、比較的柔らかめのペレットであるかと思えます。それぞれ数種類のペレットがございますので、うさぎさんに合わせてお選びいただくとよろしいかと思えます。また、お腹の状態が安定しているのであれば、葉物の野菜などを与えることで、食欲を回復することもあるかと思えますので、お試しいただくこともよいでしょう。不正咬合のことですから、今後の処置や食事の内容なども、よく担当の獣医師と話し合われることが必要だと思います。

Q: 中国に住んでいる者です。こちらのペットショップで生後3ヶ月ほどのウサギを購入しました。店員さんは「バンダウサギ」だと言いました。餌なのですが、店員さんは「基本的に人参とキャベツ」だと言ひ、小さな粒上の固形の餌も与える様に買ひました。しかし、日本のネット上で色々調べると、必ずウサギの餌には「牧草」と書いてあります。しかし、こちらではそのような餌は売られておらず、手に入りません。今後、「基本的に人参、キャベツ」でいくと、問題がありますか？それから、水分は野菜から取れるので水は与えないようにと言われました。オシッコはちゃんと出ていますが、やはり与えたいほうがいいのでしょうか？宜しくお願ひいたします。(一部中略)

A: お国が違えば、ペット事情、ペット用品などにも違いが出てくるのでしょね。お迎えしたショップでの食事の内容の案内は、きっとそのショップにいた時と同じ状況なのだと思います。人参とキャベツに固形のペレットを与えていたのでしょうか。生後3ヶ月とのことで、この内容で成長してきているのでしょうかから、その食事内容に合わせての消化システムがお腹の中で整ってきているのではないかと予測でき

ます。成長(骨格や体重など)に問題がないようであれば、きつとベストの状態なのだとはいえるのかもしれませんが。野菜中心での食事をお考えであれば、人参やキャベツだけでなく、他にも与えてよい野菜をその野菜の旬なども考えながら、偏りのないように与えていただくことが必要でしょう。そして、牧草のもつ役割は、毛球症の予防や歯の適切な摩耗、腸内細菌の安定やストレスの軽減など、うさぎさんの健康管理には大変欠かせないものです。牧草(イネ科の牧草が望ましいです)が手に入らない場合は、繊維質の多い野菜で与えられるものを選んであげることや、歯をよく使って食べられる野菜などを考慮してあげることになるでしょう。穀物や木の皮や落ち葉なども歯の使い方に違いがあるのでよいと思います。その場合も与えてよいものかということを確認いただくことは必要です。グルーミングも定期的に行ってあげる必要もあるでしょうね。歯にトラブルが起きないように、定期的に健康診断を受けることも大事になってきます。そして、水ですが、野菜からも取り込んでいることとは思いますが、飲みたいときに飲める環境を作っておくことがよいと思います。基本的に飲み水でお腹の調子を崩す、下痢をするということはありませんからね。

Q: ネザーちゃん4/30生まれは生後4ヶ月になり、最近夜ご飯の餌の内容が変わりました。前までは、エンハンサー3g、ペレット17g、パバイヤタブレット1錠、ビタミンC1錠、やぎミルク1錠6分の1、乳酸菌ひとつまみ、おやつ1種類、納豆菌2滴でしたが、4ヶ月を迎えて、エンハンサー5g、ペレット15g、パバイヤタブレット1錠、ビタミンC2錠、乳酸菌3g、おやつ1種類、納豆菌2滴の内容にかわりました。ペレットなどは、変えていません。量が変わったのみです。前までは、全部完食していたのに、最近エンハンサーを食べなくなりました。1週間前からウンチの形がまちまちになっていたので、食欲のめんや、うんちの状態もかねて、病院にいってきました。とても健康でした。先生に餌の内容を伝えると、エンハンサーはやめましょう。ペレットも歯の為に変えましょう。それで牧草と、新鮮な野菜をあげる事にしましょうと言われました。今あげているペレットはうさぎ専門店で産まれたときから食べていた餌です。急にえさをとられても、戸惑いがあります。エンハンサーはそんなにうさぎさんにとって必要ないのですか？先生にいただいた餌は、獣医さん達が意見を出し合っ出てきたペレットらしく・・・。歯にいいそうです。先生には、急にえさをのは無理なので、1週間このままの餌の内容で様子を見てみると伝えました。今日もエンハンサーは残りました。もうどれを信じていいかわかりません。どれがうさぎさんにとっていいものかわかりません。これから、どうしていけばいいのかわかりました。しっぽさん教えてください。うさぎにとつどのような内容のご飯がいいのでしょうか？(一部中略)

A: 獣医師の診断では、健康に問題がないということですから、生後4ヶ月を過ぎたこともあり、食欲などに落ちつきが出てきたところもあるかもしれませんね。エンハンサーは主食となるものではなく、栄養補助として与えていただく副食です。ペレットから、十分な栄養を取り込んでいるという場合などであれば与える量を少なくしていただいたり、その頻度を少なくするなどして、調節していただくこともよいのだと思います。そして、エンハンサーを残すということは、以前から比べて与える量が増えているようでもありますから、単純にその量が多いということにも捉えられるかと思えます。うさぎさんが自ら取り込むものを調節することもありますからね。そしてチモシー牧草もたっぷり与えてもよい時期に入ってきているかと思えます。野菜なども少しずつ与えてみることもよいでしょうね。ただし、お腹の調子を崩すこともありますから、少量ずつ様子を見ながら与えていただきたいと思います。また、ペレットですが、今与えているものが嗜好性の高いもの(甘みや穀類などが加えられている)であるとするれば、見直していただくことは必要だと思います。そうではない場合には、進められたペレットと、これまでのペレットの内容を比較してみても、また、うさぎさんの体調なども考慮しながら飼ひ主さんが判断されることでよろしいのだと思います。または、うさぎさんをお迎えしたショップにもご相談されてもよいかもしれませんね。ペレットを切り換えるという場合には、これまで食べてきているペレットなどの食事の内容に対して、お腹の消化システムも整ってきているともいえますから、急激に変えるのではなく、時間を掛けて切り換えていくことも必要になりますので、ご注意ください。

Q:種なしぶどうのピオーネをあげたら、びっくりする位に食いつきが良くて、半粒くらい食べました。夜になって、私がピオーネを食べたら、うさぎが近づいてきて、ピオーネをおねだりしてきて、半粒食べました。うさぎ用のおやつに、ぶどうがメインのものを見かけたことがなくうさぎにあげて良い果物なのか、心配になりました。うさぎにとって、ぶどうはどうなのでしょう？ (一部中略)

A:うさぎさんは果物もとても好きなようです。ぶどうは今、旬の時期でもありますから、うさぎさんも美味しいと感じているのでしょうね。このぶどうも与えていただいてよい果物ですが、果物を与える際にはその量に充分注意していただく必要があります。糖分が多いですし、その成分には取りすぎると下痢を引き起こすものもあります。また種などは与えないことがよいでしょう。そして、うさぎが食べて危険のあるものではないかということは、与える前にお調べいただくことが重要ですよ。

Q:ネザ-の早 (6ヶ月) を飼っています。生後3ヶ月で我が家にお迎えしたのですが、体重がなかなか増えてくれません。元々shopの方に、『極小タイプのネザ-なので900g前後にしかならないです。』と言われてはいましたが今日現在744gです。毎日少しずつでも増えてくれれば問題ないのですが、極端に減る事もしばしばなのです。(因みに昨日は753gでした。) この件について、shopの方にもお聞きしたところ『減るのは良くないので、牧草を少なくして下さい。』と言われて実行してきましたがいまひとつ・・・先月、健康診断で病院へ連れて行きその旨をお聞きしたところ何も異常もなしで元気との事。(ただ、牧草は無制限に与えた方が良くと言われました。) うさぎ本人も、その事以外は至って元気で跳びまわっているのですが大丈夫かとは思いますがshopの方と獣医さんの意見が違うので飼主としては困っています。体が小さいせいか少食でペレットも多い時で1日30g位、少ない時は15g位です。(平均22g位) 獣医さんにも今後病気などした場合、もう少し体重が増えないと体力的にキツイかもと言われたのでどうにか体重を増やせないかと・・・ (一部中略)

A:生後6ヶ月を過ぎたネザ-の女の子で800gに満たない体重というのは、確かに小さいようです。ただ、ショップの方がおっしゃっているように、元々小さな子ということと、現在の健康状態が万全であるということですから、このまま成長を見守っていただくことでよいのではないのでしょうか。子うさぎなど成長期で体重が増えにくい場合、多すぎる繊維質をとってしまうと、必要な栄養素までも排泄してしまうこともありますので、牧草の量を管理してあげることが必要

な場合があります。また、成長が進むにつれ、毛球症など様々な病気を防ぐには、牧草が大変効果的ですから、たっぷり与えていただきたいことも事実です。両方の意見が違うというよりは、両方の意見が正しいということでもありますから、そのことを頭に置きながら、食事内容を見直してみるとよいのだと思います。小食でもあるようですから、ペレットのほかに体を作ってくれるショーブルームなどや、食欲増進効果もある穀物なども試してみることもよいのかもかもしれません。その際は与える量を管理しながら、お腹の調子なども観察して与えてみる必要があると思います。そして牧草も、この成長時期であれば、チモシー牧草をたっぷりということにはなりません。アルファルファ牧草で栄養価も補給しながら、チモシー牧草を適量与えるなどして様子を観察してみたいかでしょうか。そして、体重管理もしっかりとされていらっしゃるようですので、今度も引き続きうさぎさんの成長を観察していただきたいと思います。体重が極端に減る時の前後の状態なども観察していただいて、何が原因であるのかということを探っていただくことも大事なかもしれません。そして病気などしないように日頃からの体調管理を大切にしていきたいと思っています。

Q:4か月になるネザ-を飼い始めて1.5か月になります。いつも元気なのと、季節も良くなったので、山の方にうさぎを連れてドライブに行こうと思っています。行こうと思っている場所は、ちょっとした広場もあるので、サークルを出して遊ばせてあげようと思っています。ただ、そこは、良く栗やどんぐりが落ちています。そこに落ちていれば間違いなくかじってしまうと思います。栗・どんぐりはうさぎに与えても大丈夫なのでしょうか。うさぎにとって有毒な成分は含まれていないのでしょうか。(一部中略)

A:栗やどんぐりの成分の多くがでんぷん質だと思います。果物などでも、熟していないものには多くのでんぷん質が含まれていますので、十分に熟したものを選んで与えるということもありますから、やはりあまり適さないものかと思います。そしてどんぐりなどは、リスなどが好んで食べていますので、成分的には有害なものがあるとは直接的には繋がらないかもしれませんが、タンニンなどが消化不良を起こすなどという記述も目にしましたので、サークルの中から排除してあげることが望ましいと思います。山の中にある広場などで、遊んだり、休んだりできるような場所には、手入れのされているところも多いかと思います。そういった場所は除草剤など薬品を使っているところも少なくないかと思いますが、事前にお調べいただくことも大切だと思います。生えている草や、落ち葉などもうさぎさんは食べてしまうことですから、充分にご注意ください。

うさぎ用品ご紹介

横浜店移転リニューアルOPENにパッケージのリニューアルと新商品が登場しました。無添加おやつシリーズ6種類・うさぎのシニアQ10乳酸菌・CARemover等が新商品。新パッケージが、グルーミングスプレーやうさぎの納豆菌・ご褒美シリーズ。パッケージと商品のリニューアルがオリジナル牧草です。



かわいい新しいマークがポイントです！



Ca REMOVER

うさぎのトイレにはカルシウム (Ca) が付きます。きれいにしたいですね・・・

うさぎさんのトイレをピカピカにするアイテム「Ca REMOVER」が新しくなって登場です。カルシウムを溶かして、おしっこの頑固な固まりをこすらずにきれいにしてくれます。しっかり尿石を落とす事は、雑菌などの繁殖を防ぎ、アンモニア臭等がなくなるだけではなく、衛生的な環境をつくり、感染症などの病気等も防ぐ事ができると思います。使用方法は、時々でいいと思います。1週間から2週間に1回程度お使い下さい。また、一年に一回の大掃除の時に大活躍です。「こんなに汚かったトイレがこんなにピカピカになるなんて・・・」本当に感じると思います。ただ、強い酸の洗剤ですので、使用後はしっかり洗い流してください。



黒ちゃんの編集後記

うさぎの言葉

横浜店移転オープンでは、たくさんの方のプレゼントをご用意させていただきましたが、このしっぽ通信と共にGETしていただけたでしょうか♪例年は、店長君の日としてイベントを行っておりますが、今年は移転オープンを合わせてお祝いできたことが、本当にうれしく思っているスタッフ一同です。前号のうさぎの言葉で、健康診断に最適な季節です！と紹介させていただきましたので、今号のテーマQ&Aは健康診断に関した内容を紹介させていただきます。私ごとですが、うちのうさぎのsunちは今年の9月未だ9歳になりました☆友人からはうさぎなのに師匠と呼ばれているものですから(笑)健康で元気に過ごしてもらわなければなあ～と誕生日を迎える事に重く受け止めています。日頃の体調をよく観察してあげることと専門家の力が必要でもありますので、是非主治医となる獣医師を見つけて、定期的にチェックしていただきましょうね！ではまた次号で♪





皆様の質問の中からテーマにそって選びました。もっともっと読みたい方は、ホームページへgo!

テーマQ&A 今回は健康診断に関するご質問です!

Q: 5年間のうちに一回も健康診断につれていったことがないんです。が元気です。やっぱり、一年間に一回は健康診断に連れていったほうがいいのでしょうか? (一部中略)

A: 元気で過ごしていることはとても幸せなことですね。5歳を向かえてもいるようですから、そろそろ中年から高齢ともいえる年齢でもあるかと思いますが、このまま健康で過ごしてくれることが一番なのですが、歳を重ねることで、その小さな体にも少しずつ変化が見られてくるでしょう。そうなったときに慌てないように、うさぎさんをきちんと診ていただける先生を見つけておくことはとても大事なことです。まずはこれが一番必要なことです。お住まいの地域でうさぎにより強い獣医師をお調べいただきたいと思います。そして定期的に診ていただくことで、うさぎさんの健康な時と、そうでないときの判断がつかえますから、ちょっとしたトラブルも見逃さずにいられることでもあります。その為の健康診断なのですからね。もちろん、動物病院に出かけるということは、うさぎさんにとってストレスとなることもあります。でも、本当に具合の悪いときに慌てるよりも、日頃から病院に慣れさせておくこともとても大事ですから、よくお考えいただきたいと思います。高齢のうさぎさんの場合には、半年に一回などの頻度で診ていただくとういでしょうね。爪切りなどもお願いするようであれば、もっと短いスパンで診ていただくようにはなるかと思いますが。

Q: 近々、健康診断を受けさせようかと思っています。その時の移動手段で述べています。今考えている病院までは、所要時間だけでいえば電車の方が片道20分から30分早く着きます。うさぎへの負担を考えた場合、やはり車の方が良いですか?あと病院ですが、近所にうさぎの扱いに慣れた病院がわからないのでインターネットで調べたうさぎ専門病院に連れて行くことを考えてます。電車で1時間弱。車で1時間以上かかります。健康診断と爪切り程度なら小動物も診てくれる近くの動物病院でも大丈夫でしょうか?うさぎはデリケートと聞いているので、できるだけ負担が少なくしかもうさぎの扱いに慣れた病院を希望しています。(一部中略)

A: うさぎさんにとっても是非健康診断は定期的に受けていただきたいと思いますが、そのことにより、体調管理や、病気の早期発見にも繋がることですので、とても大切なことです。通院に対してのストレスは、少なからずあります。そのストレスをいくらかでも軽減してあげることが必要となってくるのだと思います。電車にしても、車にしてもよりよい環境を考慮してあげるとよいと思いますよ!電車の場合は、所要時間が短くなるようですので、これは利点ですね!雑踏の中にさらされてしまいますので、うさぎさんから景色が見えないような工夫や、混雑時などを避けた通院スケジュールを考えるとよいと思います。車の場合は、個室と考えられますので、飼い主さんと一緒という印象を与えられるとも考えられますし、交通機関とは違って乗り換えなどで気温の変化もあまりないとも考えられるかもしれません。ですが電

車よりも揺れを直接感じられるともいえますし、道路事情によっては到着時間が読めない場合もでてくるかもしれません。それぞれよい悪いがあるかと思いますが、こればかりはよく考えて判断いただきたいと思います。また夏の暑い時期は、通院のストレスに合わせて、暑さなどの環境に対してもストレスが増加するとも考えられます。今回の飼い主さんのおっしゃる様に、近くの獣医師さんで診ていただくというの、ひとつの方法だと思います。そして気候が安定した時期に、よりうさぎに強い獣医師に、しっかりと診ていただくということでもよいと思います。

Q: 一週間前にホーランドロップの女の子を飼い始めたのですが、他の子よりも少し早い時期に親から離されたみたいで、お腹の調子など、気になることがあるのです。そこで、健康診断はなるべく早く行わなければならないのでしょうか。(一部中略)

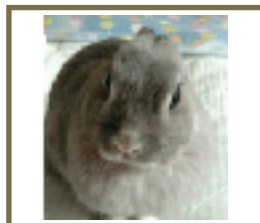
A: 確かに新しい環境に移って間もないことでもありますので、そこでまた新たにストレスを加えかねないともいえる、通院をしてもよいのかということ、難しいご質問です。離乳が早いということがわかっていらっしゃるようですので、お迎えしたショップないしブリーダーなどと、ご連絡がお取りできる状況なのではないかと推測できます。まずは気になるうさぎさんの状況を、ショップやブリーダーにご相談されることでもよいのだと思います。もちろんうさぎさんを診てくれる獣医師をきちんと探して、直接診ていただくこともよいのですが、そのことがストレスにならないとは言いきれません。ただし、ストレス云々と言っている場合ではない状況もあるかと思いますが、一刻を争うような状況に陥った時には、迷わずに専門家にきちんと診ていただくことが必要です!この判断を誤らないように、うさぎさんの行動を日頃からよく観察していただいて、体調不良のサインを見落とさないであげていただきたいと思います。

Q: 今7ヶ月のネザーを飼っていますが、2ヶ月程前から通院しています。ほとんど毎週土曜に行って、薬をもらい、たまに検査をするとかかなりのお費になってしまいます。本人も大変ですが、嫌がる薬を与えるストレスに加えて、正直なところ金銭的な負担も重くなってきました。今後も治療を続けるつもりですが、健康とはいえないので、もう保険や共済に加入することはできないのでしょうか。(一部中略)

A: ペット保険の中で、うさぎを対象としている保険会社は数社というところのようです。それぞれの保険会社によって、申し込み時の条件などが異なってきますので、お調べいただくことになると思います。加入できるかどうか、またその保険がどのような保障制度なのかをよく理解することが大事だと思います。かかりつけの獣医師のもとでペット保険の案内などがあるようならば、そちらで詳しくお聞きになることもよいでしょうし、書籍のうさぎと暮らす10号にはペット保険の特集記事もありますので、是非ご参考にしていただきたいと思います。

Best shot紹介! お店のお客様の子やホームページのマイページから選ばせて頂きました。

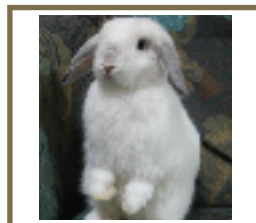
今回のうさぎさんは、カメラ目線の子やポーズ! ?をとっている子が多いですね ☆皆様も是非ナイスショットを目指してください♪



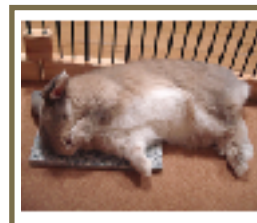
福ちゃん



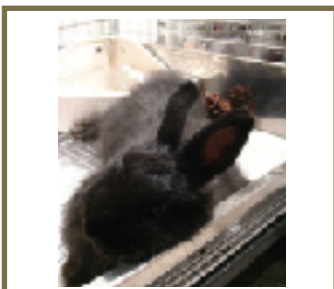
ピコちゃん



チャッピーちゃん



りりちゃん



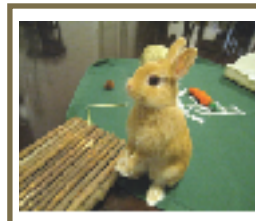
ナインチエちゃん



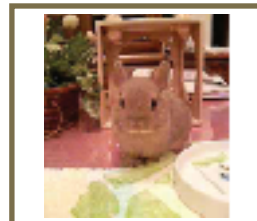
もこたちゃん



むーたんちゃん



ぽつちゃん



ひよん木ちゃん